

中間地点です

10月です。学校の1年間のちょうど中間地点です。これからは、それぞれの学年の後半戦となります。風もずいぶん涼しくなり、秋らしくなってきました。これから秋本番です。これまでできるようになったこと、まだ不十分なところ、必ずあるものです。それをみんなで確かめながら、「実りの秋」となるよう、さらに高みを目指してチャレンジさせていきたいと思います。

【宿泊学習】

9月20日（水）から22日（金）の2泊3日で、5年生が日吉自然の家へ宿泊学習に出かけました。

1日目は、入所式が終わった後、すり身作り体験をしました。はじめて「きびなご」を手でさばき、すりこぎとすり鉢を使ってすり身を作りました。学校ではできない貴重な体験で、おいしくできあがって、子供たちはえがおいっぱいでした。夜は、ナイトウォークをしました。あいにくの天気で、残念ながら星は見えませんでした。真っ暗な森を虫の声を聞きながら歩いたことは、良い思い出となったことでしょう。

2日目は、朝からカレー作りをしました。薪割り・火起こし体験では、火を起こすまでのたいへんさを体験することで、今の生活がとても便利であることに気づきました。班の仲間と協力し合いながら、カレー作りも上手にできました。午後からは、スコアオリエンテーリングを行いました。疲れて歩くのが遅くなってしまいうだちに合わせて歩くなど、最後まで思いやりの気持ちを忘れずに、たいへんよくがんばりました。

3日目は、日吉自然の家での退所式を終えて、長崎市恐竜博物館へ行きました。目の前の大きな恐竜の全身骨格レプリカやリアルな動きをするロボットに、子供たちは興奮していました。ここでも、学校ではできない学びがたくさんできました。

私は、学校を出発する前に、子供たちに「自分のためだけでなく、とにかく人のために動く3日間」にするよう話をしました。子供たちは、しっかりとそれを実践し、たいへんよく頑張りました。夜に少し様子を見に行っただけでも、子供たちの立派さが伝わってきて、誇らしかったです。



【10月の行事予定】

2日(月)	視力検査(1・2・3年)	6年小体会かきどまり練習	安全の日
3日(火)	視力検査(4・5・6年)		
4日(水)	小体会選手を励ます会		
5日(木)	チャレンジ検定(国語)	委員会活動	
9日(月)	スポーツの日		
10日(火)	ピースデイ		
11日(水)	全校弁当の日	6年小体会(かきどまり陸上競技場)	
12日(木)	チャレンジタイム(体力)	クラブ活動	
13日(金)	小体会予備日(6年弁当の日)	あくりゅうクラブ	
15日(日)	家庭の日		
17日(火)	食育指導(2・3年給食)		
18日(水)	児童集会(読書集会)		
19日(木)	チャレンジ検定(算数)	集団下校	
20日(金)	スクールコンサート(午後)		
24日(火)	校内研究授業(3校時;5年)		
25日(水)	全校集会		
26日(木)	6年修学旅行(~27日;熊本方面)	チャレンジタイム(体力)	
27日(金)	西部地区特別支援学級交歓会		

【Peace Day】

本校では、年間を通して平和を思う気持ちを育てたいという願いから、毎月9日(休日のときはその前後)に、ピースデイの取組を行っています。

＜取組内容＞

○9日11時2分に市から流れる「千羽鶴」の曲に合わせて黙とうをします。

○朝や帰りの会の「先生の話」の中で、平和や人権について話をしたり、本を紹介したりします。

○朝や昼の校内放送で呼びかけます。

＜今年度の取組のテーマ＞

1学期・・・「私がつくる私の平和」

2学期・・・「みんなで作るみんなの平和」

3学期・・・「1年間を振り返ろう」

ロシアとウクライナの戦争が早く終息し、いつまでも平和な世の中が続くよう、未来を子供たちに託します。

《校長室の窓から》

外で遊ぶときでも、まだマスクをしている子供もいます。自分の顔を人に見せるのが恥ずかしいと感じている子供もいるようで、少し心配になります。

「目を見て話を聞きなさい。」と、私たちは、子供を指導してきました。その理由はよく分かっていませんでしたが、どこか本能的に「大切なこと」だと感じていたように思います。

その理由は、ヒトの進化の過程にありました。

以前は、ヒトは言葉を話すようになって、霊長類から独自の進化をしてきたのではないかと考えられてきました。ところが、ヒトが言葉を獲得したのは、ヒトとして進化したずっとあとなのです。言葉を獲得するまでは、「対面コミュニケーション」という方法で、顔と顔(目と目)を合わせながらコミュニケーションを図っていました。やがて、コミュニティが大きくなり、より多くの他者とより多くの情報を共有するための言葉が生まれたのです。そして、いつか言葉は人のコミュニケーションの中心となっていきます。

しかし、コミュニケーションの本質は『対面』です。「声色」というように、言葉には音だけでは不十分な複雑な要素があり、言葉だけでは伝わらない心根までも伝えることができます。今一度、「目を見て話を聞く」「顔と顔を合わせて話をすること」を大切にしたいと思います。

また、完全にコロナの心配は消えてはいません。インフルエンザが流行している学校もあるようです。時と場に応じてマスクの着脱ができるように指導を続けていきます。